KANAGAWA
神奈川の仲間
発行所　神奈川労連　〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館内 ☎045(212)5855FAX045(212)5745
発行人/片野　憲二
編　集/「神奈川の仲間」編集委員会

《歳時記》初ガツオ　南方の海で生まれたカツオは1月ごろにフィリピン沖で黒潮に乗り、2～3月には九州沖を北上、4月になると駿河湾沖に達します。イワシをたっぷりと食べて丸々と太ったカツオは、5月ごろに静岡県や千葉県などの漁港に水揚げされます。このころのカツオを「初ガツオ」と呼んで珍重するようになったのは江戸時代。江戸っ子たちは「初物を食うと75日長生きする」と、ナスやキュウリの初物にも夢中になったとか。

東芝争議が全面解決

「東芝の職場を明るくする会」の仲間と支援の人々（4月24日、中央労働委員会前で）

画期的な内容の和解協定

「良かったね」、「おめでとう」。中央労働委員会の会議室は、喜びにあふれた笑顔がひろがりました。

4月24日、「人権を守り差別のない明るい職場をつくる東芝の会」（略・東芝の職場を明るくする会、申立人12人および差別是正申告者84人）と株式会社東芝は、中央労働委員会で和解協定に調印しました。

紛争の再発防止を約束

東芝は、申立人と「東芝の職場を明るくする会」に所属する東芝および関係会社在籍者について処遇を見直し、他の従業員と同様に公正に取り扱うことを約束し、申立人と「会」に対して解決金を支払うことになりました。さらに、賃金処遇などに関する紛争の再発防止を約束させた画期的な内容となっています。

「東芝の職場を明るくする会」の申立人は、労働組合活動を理由とする差別の是正を求めて、1995年に神奈川県地方労働委員会に不当労働行為救済申立をおこない、2001年に勝利命令を勝ちとりました。

しかし東芝は、中央労働委員会でも争議解決を引き延ばす態度を変えなかったため、2003～4年にかけて新たに9人が第二次申立をおこない、運動を強めながら解決を迫ってきました。

数多くの証拠で会社を追及

労働委員会のなかでは、会社が作成した、申立人らを「問題者名簿」にリストアップした秘密労務文書や、特定の思想の排除をねらう「東芝扇会」の発行物・課長教育資料など、不当労働行為を裏付ける数多くの証拠を提出。

さらに申立人らの差別是正申し入れ文書や職場新聞を活用し、弁護団を中心に、公安警察官と癒着した東芝の異様な労務管理の実態を明らかにしてきました。

弁護団の活躍や、当該労働者、支援の仲間のがんばりがあり、県労委では01年と06年の2度の勝利命令、中央労働委員会でも04年に全面勝利命令と05年の緊急命令申立を勝ちとり、会社を追いつめてきました。

全国の仲間の支援を受けて

労働委員会の命令は、東芝が多数の警察出身者を雇い入れて職場内に秘密組織（東芝扇会のちに自己啓発の会）をつくり、これを利用して労働組合活動に支配介入してきた事実を認定し、東芝に対して申立人らを差別してきた違法な労務管理を改めることを、厳しく命ずるものでした。

世界的な大企業である東芝を社会的に包囲していくため、05年には東芝の主要事業所のある地方労連や地域労連の役員にも参加してもらい、支援共闘会議を結成。

多くの仲間の支援を受けながら、全国にある東芝の事業所と関係自治体への要請・宣伝行動を実施し、また毎月、神奈川や東京の主要事業所前での宣伝行動やデモ行進など全国的・地域的な運動を繰り広げてきました。

明るい職場づくりを

また、「東芝の職場を明るくする会」のホームページは77万アクセスを超え、東芝社内からも数万のアクセスと要求解決を求める相談や情報が寄せられるようになり、解決を求める機運が強まって、今回の全面一括解決が実現しました。

「東芝の職場を明るくする会」と東芝争議弁護団、東芝争議支援共闘会議は、「私たちは全面一括解決の成果を生かし、これからも人権を守り差別のない明るい職場づくりをめざす活動と、格差と貧困の広がりにストップをかけ、平和な社会を築く運動にとりくんで参ります。これまでご支援をいただいた職場と全国の皆様に、心から感謝し厚くお礼を申し上げます」との声明を発表しました。

7月5日には、全国・全県の支援してくれた仲間を招き、勝利報告集会をおこなう予定にしています。

県労働委員会に申し立てたメンバー

よろず川柳

雨と風のなか、政府がいう〝長寿〟医療制度の廃止を求める宣伝と署名行動を実施。「なんでいまになって年寄りをいじめるの」、「道路財源や無駄づかいをやめればいいんだ」、「全国いっせいにデモでもなんでもやってよ」、「小泉はひどいヤツだ」、「年金は生活費だ、天引きされたら生活できない」。ぶつぶつ言いながら署名版にお年寄りがよってきました。怒りに震えて2行つかって名前と住所を書く女性も…◆年金もひどい。国民年金は40年間払って満額で6万6千円ほど。25年以上かけ続けなければもらえない年金。毎月かけ続けたこの年金記録が「宙に浮いた」「消えた」。3月末までにすべて解決すると何回も約束した政府・与党。この連休中も休みなく「年金特別便」を握り締めて社会保険事務所に相談者が殺到。6～7時間待ちです。その上、年金積立金の運用で3兆円も損失。これほど国民をバカにした話はありません◆「年金制度は・自助・共助・公助です」。この社会保険事務局長のことばに年金者組合委員長が怒りました。「憲法25条の第2項にもとづく年金ではないか」。政府はすべての生活部面と医療・年金・介護など社会保障の増進の義務があります◆5月から夏にかけては熱いたたかいとなります。人間のいのち・健康・生活にかかわる医療・年金・介護の問題、そして改正最賃法による「せめて時間額1000円の実現」、派遣法の改正です。「声を上げれば世論が動き、要求実現の力となる」情勢です。（み）